

衛 生 費

4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

② 保健衛生事務費（健康推進課）

1 公衆衛生業務のための体制整備等

- (1) 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- (2) 各種予防接種や健診等のデータ管理のための総合保健福祉システムを運用した。

2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、乙訓2市1町及び(一社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3 回

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 3 回

乙訓保健予防行政事務協議会 7 回

乙訓保健事業運営委員会 8 回

3 「向日市食育推進計画」に基づき、各種取組を行った。

- (1) 歯のひろばで「食育コーナー」を設け、啓発活動を行った。
- (2) 乳幼児健康診査、離乳食教室、プレママスクール、健康相談等で、栄養指導・相談を行った。

4 生涯を通じた市民の主体的な健康づくりを支援するため、健康増進法及び国が示す「健康日本21(第3次)」に基づき、「向日市健康づくり計画」を策定した。

向日市健康づくり計画策定のため、向日市健康づくり計画策定懇談会を開催した。

	開催日	内容
第1回	令和5年9月27日	計画の骨子及び目標の方向性について
第2回	令和5年12月26日	向日市健康づくり計画(案)について

③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

1 乙訓休日応急診療所利用状況 (単位：人、%)

診療 日数 72日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0～ 5歳	6～ 15歳	16歳 以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	6,624	1,591	1,829	3,204	5,611	585	11	417	1,284	3,560	695	888	197
構成比	100	24.0	27.6	48.4	84.7	8.8	0.2	6.3	19.4	53.7	10.5	13.4	3.0

2 在宅外科当番医制事業利用状況 (単位：人)

診療 日数 76日	外科受 診者数	年齢別内訳				住所別内訳			二次後送 の人数
		0～ 6歳	7～ 15歳	16～ 64歳	65歳 以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
患者数	329	57	46	125	101	105	181	43	2
1日平均	4.3	0.8	0.6	1.6	1.3	1.4	2.4	0.6	-

実施医療機関実数：27施設（診療所22、病院5）

実施医療機関延べ数：72施設（診療所22、病院50）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区分		入 院					入院 合計	外 来					外来 合計	総 計
		内科	小児科	外科	脳外科	その他		内科	小児科	外科	脳外科	その他		
乙訓	向日市	8	6	7	4	24	49	35	58	25	8	44	170	219
	長岡京市	26	9	2	3	24	64	54	49	30	5	50	188	252
	大山崎町	4	1	1	0	3	9	7	11	6	1	9	34	43
京都市		724	165	206	77	204	1,376	1,818	1,314	867	77	445	4,521	5,897
その他		76	17	27	15	30	165	223	120	124	13	88	568	733

④ 献血推進対策費（健康推進課）

1 移動献血車による献血運動

市内6会場において実施した。

実施日数	来所者数	採血者数	200ml 献 血	400ml 献 血
95 日	5,767 人	5,357 人	13 人	5,344 人

2 骨髄ドナー助成事業

骨髄等の提供を行った方に、入院や面談に要した日数に応じた助成を行う事業を実施した。

助成者数 1 人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センターは、子育てセンター「すこやか」とファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて3部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリー サポート センター
事業開催回数	43 回	332 回	34 回	10 回
延べ参加者数	1,182 人	3,498 人	948 人	102 人
会議・研修会 等の開催回数	9 回	9 回	76 回	34 回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

② 感染症対策費（健康推進課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種を実施した。

A類予防接種：BCG、B型肝炎、不活化ポリオ、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、
四種混合（ジフテリア、百日せき、ポリオ及び破傷風）、麻しん風しん混合、水痘、
日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症、ロタウイルス感染症

B類予防接種：高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症

(1) 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実施実人数	接 種 率
BCG	令和4年10月1日～ 令和5年9月30日生	392 人	381 人	97.2 %

(2) 個別接種

種 類	通 知 対 象 者 等	対象者数	接種者数	接 種 率
B C G	—	—	1 人	—
ロタウイルス 感染症	令和5年2月1日生～令和6年1月31日生	延べ1,000 人	898 人	89.8%
B型肝炎	令和5年2月1日生～令和6年1月31日生	延べ1,200 人	1,149 人	95.8%
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	新たな通知は行わなかった。	—	0 人	—
Hib感染症	令和5年2月1日生～令和6年1月31日生	延べ1,600 人	1,560 人	97.5%
小児の肺炎球菌 感染症	令和5年2月1日生～令和6年1月31日生	延べ1,600 人	1,557 人	97.3%
四種混合※1	令和5年2月1日生～令和6年1月31日生	延べ1,600 人	1,649 人	103.1%
ジフテリア 破傷風	平成23年4月2日生～平成24年4月1日生	510 人	404 人	79.2%
麻しん風しん 第1期	令和4年6月1日生～令和5年5月31日生	400 人	382 人	95.5%
水 痘	令和4年6月1日生～令和5年5月31日生	延べ800 人	763 人	95.4%
麻しん風しん 第2期	平成29年4月2日生～平成30年4月1日生	587 人	561 人	95.6%
日本脳炎第1期	平成31年4月2日生～令和2年4月1日生	延べ1,521 人	1,974 人	129.8%
日本脳炎第2期	平成25年4月2日生～平成26年4月1日生	542 人	565 人	104.2%
日本脳炎特例	新たな通知は行わなかった。(令和2年度最終通知)	— 人	93 人	—
ヒトパピローマ ウイルス感染症※2	平成9年4月2日～平成19年4月1日※3	2,668 人	389 人	14.6%
	平成19年4月2日～平成23年4月1日生	延べ2,112 人	416 人	19.7%
高齢者 インフルエンザ	65歳以上の方	15,300 人	※4 7,978 人	52.2%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	20 人	12 人	
高齢者 肺炎球菌感染症	65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳の方	※5 2,215 人	489 人	21.9%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	20 人	0 人	

※1 四種混合とは、ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風混合予防接種をいう。

※2 令和4年度にヒトパピローマウイルス感染症予防接種定期接種の通知を再開した。

※3 ワクチンの積極的勧奨の差し控えにより、定期接種を逃した方(キャッチアップ対象者)

※4 高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症の接種者数は、依頼書による接種者数を含む。

※5 高齢者肺炎球菌対象者は、65歳 612人と、70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳で対象であった5年前に未接種であった人1,603人

(3) 委託医療機関以外で接種する必要がある人の対応

平成25年度から長期里帰りなどにより委託医療機関で予防接種が受けられない場合に、個別に契約し、定期接種できるよう対応している。

9人（実人数）

71人（延べ人数）

(4) 長期療養が必要な特定疾病に係る特例措置

平成25年2月から長期療養が必要な特定疾病のために定期予防接種の機会を逸した人に対する定期予防接種を行っている。

1人（実人数）

1人（延べ人数）

(5) 専門的予防接種・高度専門的予防接種

専門的な医学管理のもとで接種が必要な場合、京都済生会病院及び京都府公立大学法人京都府立医科大学附属病院で接種できるが、接種者はなかった。

(6) 成人男性風しん予防接種事業

風しんの抗体保有率を引き上げ、風しんのまん延、先天性風しん症候群の発生を防止するため、令和元年2月から令和4年3月31日までの時限措置として、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に令和2年にクーポン券を配布し、抗体検査と十分な量の風しんの抗体がない人に定期予防接種を実施した（令和7年3月31日までの期間延長）。

クーポン券配付対象

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生の男性 7,390人

令和5年度抗体検査受診者数 91人（うち予防接種対象者 35人）

令和5年度予防接種接種者数 MR：35人 風しん：0人

2 風しん予防接種助成事業

先天性風しん症候群の発生を防止し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを進めるために、風しん予防接種の接種費用の一部を助成した。

助成対象

妊娠を希望する女性で抗体検査等により抗体価が低い者又は抗体価が低い妊婦と同居している抗体価が低い者が、風しん又は麻しん風しんの予防接種を受けた場合

助成者数 50人（女性43人、男性7人）

3 予防接種費用助成事業

予防接種法による定期の予防接種を依頼書に基づき委託医療機関以外で接種をした場合に接種費用の一部を助成した。

助成者数 28人（高齢者予防接種28人、乳幼児予防接種0人）

4 骨髄移植等の医療行為に係る任意予防接種費用助成

骨髄移植等の医療行為により、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断され、任意で再接種する20歳までの接種者に対し、経済的負担の軽減を目的とし、接種費用を助成した。

助成件数 1件

5 結核検診

65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査(間接撮影)を肺がん検診と同時に市内9会場(5日間)で実施した。

実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果				未 受 診
			異常なし	結核	肺がん疑い	その他	
10回	501人	11人	3人	0人	1人	6人	1人

6 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチンの接種について次のとおり実施した。

(1) 予防接種台帳システム改修

ワクチン接種記録システムとの連携のため、総合保健福祉システムの改修を行った。

(2) 接種券、予診票、案内等の印刷

対象者分の接種券、予診票、案内、封筒の印刷を行った。

(3) 接種の実施体制の確保

集団接種会場運営、個別接種実施医療機関へのワクチン配送等に必要な備品や感染予防物品、救急対応物品等を調達した。

(4) 相談体制の確保

新型コロナウイルスワクチン接種に係る相談・集団接種予約受付のためのコールセンター運営を行った。

(5) 接種機会の確保

接種を希望する人が接種を受けられるように、集団接種及び医療機関での個別接種を実施した。

1回目接種者：20人 2回目接種者：24人 3回目接種者：85人

4回目接種者：343人 5回目接種者：3,310人 6回目接種者：10,365人

7回目接種者：7,063人

集団接種

ア 令和5年春開始接種

実施期間	実施場所	実施日数	総接種者数
令和5年5月20日～7月15日	永守重信市民会館	8日	3,065人

イ 令和5年秋開始接種

実施期間	実施場所	実施日数	総接種者数
令和5年9月30日～10月29日	永守重信市民会館	6日	2,663人

7 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 新型コロナウイルス感染症妊婦健康観察支援事業(健康推進課)

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業)

新型コロナウイルスに感染した妊婦の診療の機会を確保し、妊婦及び胎児への影響や出産への不安等を軽減するため、向日市内の医療機関が実施する遠隔診療による健康観察に要する経費に対して、補助を行った。

実施医療機関数 1件

事業費 2,362,800円

4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

① 成人保健事業費（健康推進課）

生活習慣病を予防するために各種健康診査を実施するとともに、がんを早期発見し早期治療に結びつけるために、各種がん検診を実施した。

1 健康診査事業

(1) 30歳代の健康診査

「自分の身体に適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧・脈拍測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c)

イ 受診者数 0人

(2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月1日から12月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

イ 受診状況

対象者	受診者数
生活保護受給者	82人
国保異動者(国保会計負担)	42人

(3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象者について、個別医療機関において、7月1日から12月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、BMI）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 γ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診者数 3,873人

2 がん検診事業等

(1) 胃がん検診

ア 胃がんバリウム検診（集団方式）

胃部レントゲン撮影により、西暦で偶数年生まれの50歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて3日間実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃 が ん	他病	不明	
142人	139人	3人	2.1%	1人	0人	2人	0人	0人

イ 胃がん内視鏡検診（個別方式）

胃カメラ検査により、西暦で偶数年生まれの50歳以上の市民を対象に、令和5年度から医療機関における胃がん内視鏡検診を導入した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果（生検含む）					精 検 未受診
				異常なし	胃がん	胃がんの疑い	他病	不明	
90人	87人	3人	3.3%	0人	2人	1人	0人	0人	0人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

西暦で偶数年生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。（実績には無料クーポン検診の受診者も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	子宮頸がん	異形成	その他	不明	
1,202人	1,183人	19人	1.6%	5人	0人	6人	0人	0人	8人

イ 子宮がん無料クーポン検診

20歳の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
276人	33人	12.0%

※受診者数はアに含む。

(3) 乳がん検診

40歳以上の西暦で偶数年生まれの女性を対象に、マンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）による検診を実施した。保健センターにおける集団方式は、4日間実施し、「自己検診法」の健康教育を同時に行った（実績及び検診日数には、がん検診推進事業も含む。）。管外受診制度（個別方式）は、京都府下委託医療機関において、9月1日から翌年2月29日まで実施した。

ア 集団方式

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
493人	462人	31人	6.3%	10人	1人	0人	8人	6人	3人	0人	0人	3人

イ 管外受診制度（個別方式）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
264人	236人	28人	10.6%	3人	2人	0人	7人	4人	8人	2人	0人	2人

ウ 乳がん無料クーポン検診

40歳の方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
351 人	100 人	28.5 %

※受診者数はア及びイを含む。

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内8会場（5日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精検 未受診
					異常なし	肺がん	肺がん の疑い	他 病	不 明	
682人	591人	78人	13人	1.9%	4人	1人	1人	6人	0人	1人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
20人	17人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。保健センターにおける集団方式は、胃がん検診、乳がん検診、肺がん検診（一部）と同時に6日間行った。

個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月1日から12月31日までの間実施した。

ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
157 人	150 人	7 人	4.5 %	2 人	1 人	2 人	0 人	2 人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,318 人	3,082 人	236 人	7.1 %	48 人	9 人	98 人	0 人	81 人

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、P S A値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。

（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未受診
				異常なし	がん	肥大	他病	不明	
1,774人 (605 人)	1,588人	186人	10.5 %	20人	8人	78人	5人	0人	75人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率
B 型	73 人	73 人	0 人	-
C 型	73 人	73 人	0 人	-

(8) 胃がんリスク検診

40歳代の方を対象として、乙訓胃がんリスク検診委託医療機関で、7月1日から12月31日までの間、ピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査を実施した。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検結果					精 検 未受診
				異常なし	早期 胃がん	萎縮性胃炎	胃 ポリープ	その他	
155人	130人	25人	16.1%	2人	0人	9人	2人	0人	12人

3 健康教育

(1) 禁煙チャレンジ

効果的な禁煙習慣継続に向けた個別サポートを実施した。

利用実人数	延べサポート回数
5 人	15 回

(2) 脱！肥満・高血圧・糖尿病チャレンジ

生活習慣を改善するため、自分の体の状態に適した食生活や運動習慣に関する個別サポートを実施した。

利用実人数	延べサポート回数
4 人	30 回

(3) ぽっこりおなか改善！フィットネス教室

各クール毎に内容をかえ、家庭でも継続して行える運動の基礎を学ぶ教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
10 回	54 人	148 人

(4) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。8種類のテーマから選択してもらい、各団体の希望に沿って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
7 団体	14 回	173 人

(5) 歯のひろば

市民を対象に、京都府乙訓歯科医師会との共催で実施した。

ア 内 容 歯科医師による口腔内チェック、歯科衛生士による講話、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト、口腔機能低下症チェック）、骨強度測定、血管年齢測定、簡単認知機能テスト、健康教育（パネル展示）、食育コーナーを設けての啓発活動

イ 来所者数 184人

4 健康相談

(1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じてパンフレットを配布した。

ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	健康相談
5回	24人	21人	20人

イ 30歳代の健康診査結果説明会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 各種健（検）診等あらゆる機会を捉え、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
37回	1,475人

5 訪問指導

保健師、管理栄養士が、がん検診や各種健診後の要指導者に対する家庭訪問指導を行った。

実人数 5人 延べ人数 5人

6 その他の健康づくり

(1) チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から実施している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者： 28人

延べ認定者数： 60人

4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

① 母子保健事業費（健康推進課）

1 子育てコンシェルジュ推進事業

(1) 子育てコンシェルジュ

妊娠期から子育て期に渡るまでのワンストップ窓口として専任保健師を配置し、妊婦や転入児の保護者の面接・相談を行い、地域の子育て情報等の提供を行った。

市の子育てサービス等の情報を集約し、手書き地図に地域の子育て支援ひろば・公園を載せた子育てコンシェルジュマップを転入児相談・乳児健康診査・乳児訪問等で配布した。

また、支援の必要な妊婦に個別支援プランを作成し関係機関と連携しながら継続支援を行った。

	面接数	電話相談数
妊 婦	537 人	316 人
転入児（転入届出時）	178 人	7 人
その他の乳幼児	65 人	141 人

(2) 産前・産後サポート事業

ア 子育てパートナー派遣事業

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が電話相談・訪問指導を行った。

電 話 相 談	家 庭 訪 問
107 人	53 人

イ プレママ・サロン事業

子育てコンシェルジュの個別支援プランに基づき、支援の必要な妊産婦に助産師が保健センターで集団指導や個別相談を行った。

実 施 回 数	参 加 妊 婦 数	配 偶 者 等
12 回	88 人	30 人

(3) 産後ケア事業

ショートステイ（宿泊型）やデイサービス（日帰り型）の利用により、産婦の体調管理と育児をサポートし、安心して子育てができるよう産科医療機関及び助産院で助産師が指導を行った。

利用者数（実人数）	ショートステイ（延べ）	デイサービス（延べ）
17 人	26 日	9 日

(4) 子育て世代サポート事業

すくすく身体クリニック

配慮を必要とする子どもを支援し、保護者の不安や負担を軽減するために、小児科専門医の診察と保健師・栄養士による指導を行った。

実 施 回 数	参 加 者 数	参加者延べ人数
15 回	37 人	76 人

- 2 親子健康手帳（母子健康手帳）、妊婦健康診査公費負担受診券の交付及びマタニティマークの配布
親子健康手帳（母子健康手帳）交付件数 356人
妊婦健康診査公費負担受診券交付件数 388人（うち 転入32人）

3 妊婦健康診査

平成9年度から市が実施している。平成20年度から回数を5回に拡充、平成21年度からは14回に拡充するとともに委託先を京都府医師会だけでなく、大阪府医師会及び京都府助産師会にも拡大した。

平成23年1月からH T L V－1抗体検査を、平成23年4月からクラミジア検査を追加した。

多胎妊婦健康診査支援事業として、令和2年度から多胎妊婦を対象に、基本健診6回分、追加健診3回分を追加した。

受診者実人数 607人

（単位：人）

	受診者数	健診結果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	4,736	4,622	27	12	75
多胎妊婦基本健診（1～6回）	8	8	0	0	0
多胎妊婦追加健診（1～3回）	6	5	0	1	0
前期血液検査（貧血、血糖）	355	351	2	0	2
血液型	354				
中期血液検査（貧血、血糖）	374	346	5	3	20
後期血液検査（貧血）	336	296	12	0	28
血液検査（免疫検査）	355	354	0	1	0
B群溶血性レンサ球菌検査	346	340	0	0	6
H I V抗体価検査	355				
超音波検査（1～4回）	1,459	1,433	6	8	12
H T L V－1抗体検査	358	358	0	0	0
クラミジア検査	358	357	0	0	1

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	353	353	0	0

○ 妊婦健康診査助成制度

委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 32人（実人数）

内訳 令和4年度健診分 延べ16人

令和5年度健診分 延べ25人

4 産婦健康診査

令和5年度から産婦健康診査を開始した。産後2週間頃、産後1か月頃の最大2回実施。

受診者数	異常なし	要指導	要医療	要精検
498	489	5	3	1

(1) 産婦健康診査助成制度

委託医療機関以外の産婦人科で産婦健康診査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 19人 (延べ 33人)

5 新生児聴覚検査費用助成事業 (令和5年度主要事業)

令和5年度から新生児を対象に、新生児聴覚検査に要する費用の一部の助成を開始した。

検査の種類	AABR又はABR	OAE
受診者数	212	115

AABR:自動聴性脳幹反応検査 ABR:聴性脳幹反応検査 OAE:耳音響放射検査

(1) 新生児聴覚検査助成制度

委託医療機関以外で新生児聴覚検査を受診した人に助成金を交付した。

助成人数 30人

6 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金事業

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てを行うことができるよう、面談による伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済支援を行った。

(1) 伴走型相談支援

保健師・助産師等専門職により相談を行った。

電 話 相 談	家 庭 訪 問
152 人	8 人

(2) 経済的支援

ア プレママ応援給付金・プレママ応援ギフト

妊娠届出時、面談を実施した妊婦に5万円又は5万円相当の育児関連用品等を専用サイトで注文できる電子クーポンを支給した。

支給人数 334人

イ すくすく赤ちゃん応援給付金・すくすく赤ちゃん応援ギフト

2か月児訪問時、面談を実施した保護者に、新生児1人につき5万円又は5万円相当の育児関連用品等を専用サイトで注文できる電子クーポンを支給した。

支給人数 348人

7 乳幼児健康診査

		実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果		
					異常なし	要精検 要注意	未実施
乳児前期健康診査		12回	401人	392人	270人	122人	
乳児後期健康診査		12	398	387	266	121	
1歳6か月児 健康診査	一般	12	431	426	264	162	
	歯科	12	431	426	425	1	0
3歳児健康診査	一般	12	481	474	235	239	
	歯科	12	481	474	354	118	2
	視覚	12	481	474	436	38	0
	聴覚	12	481	474	467	7	0

3歳児健康診査精密検査

項 目	精密検査対象者		受診者	受 診 結 果		
	人数	要精検率		異常なし	経過観察	要 治 療
耳 鼻 科	4 人	0.8 %	0 人	0 人	0 人	0 人
眼 科	35	7.4	20	0	15	5
検 尿	16	3.4	8	4	4	0
発 達	45	9.5	26	5	19	2
その他の所見	7	1.5	0	0	0	0

8 健康教育

(1) プレママスクール

妊婦（配偶者を含む。）を対象に、保健師、助産師、看護師、栄養士による教室を実施した。

実施回数	対象者数	受講者数	延べ受講者数
12回 (全3回、4クール)	388人 うち初妊婦180人	45人 受講率11.6%	78人 うち初妊婦 60人 うち配偶者 10人

※向日市食生活改善推進員協議会の協力を得て、大人の食事から取り分ける離乳食のレシピ紹介と、調理方法の実演を実施した。

(2) 離乳食教室

離乳食の必要性や実際の食べさせ方、進め方等について、講話を実施した。

実 施 回 数	対 象	対象者数	受講者数	受講率
12 回	生後5か月児の保護者	404 人	159 人	39.4 %

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、子育てセンター保育士によるグループ指導を通年で実施した。

実 施 回 数	来所児数	同伴兄弟	保 護 者 数	結果（実人数）	
				療育施設へ紹介	発達相談・ことばの相談等で継続
12	89 人	11 人	92 人	3 人	7 人

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防だけではなく、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

ア 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来 所 率	1 回 平 均 来 所 児 数
3 回	468 人	137 人	29.3 %	45.7 人

イ 歯科健診結果

虫 歯 保 有 者	虫 歯 保 有 率	総 虫 歯 本 数
7 人	5.1 %	16 本

(5) 2歳児教室

主に1歳6か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実 施 回 数	対 象 者 数	来 所 児 数	参 加 率
6 回	92 人	74 人	80.4 %

(6) ブックスタート

乳児後期健康診査時にブックスタートパック（絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット）を手渡すことと併せ、読み聞かせを実施した。

実施回数	配布者数	配布数
12回	388人	776冊

9 健康相談

(1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来所児数			1回平均 来所児数
	乳児	幼児	計	
16回	240人	161人	401人	25.1人

(2) 発達相談、ことばの相談

家庭訪問、健康診査、相談等から発見された児童の個別指導として実施した。

	相談回数	へ来延べ所人児数	へ来実所人児数	相談結果			他機関への紹介				
				正常・改善	継続	就学・転出・他機関	療育機関へ	医療機関へ	発達支援専門クヘリ	ことばの相談	発達相談
発達相談	172回	280人	272人	23人	184人	65人	16人	0人	0人	0人	人
ことばの相談	12回	25人	18人	3人	13人	2人	0人	0人	0人	人	0人

10 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。

家庭訪問数

(単位：人)

産婦	新生児	乳幼児※
413人	20人	746人

※ 乳幼児家庭訪問数は以下の事業による訪問を含む。

- 里帰り訪問事業 延べ人数 13人
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 384人(双子4組)
(うち低出生児延べ人数 33人)

11 養育支援家庭訪問事業

養育支援の必要な家庭に対し、保健師・助産師、家庭児童相談室の相談員等が家庭訪問を行い、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行った。

(単位：人)

	保健師・助産師		家庭児童相談室 相談員等	
訪問数	408		278	
(内訳)	妊婦	42	乳幼児	159
	産婦・母	33	児童	119
	乳幼児	333		

12 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小 計	継続通園児数		小 計	合 計	
4月	週 1 回	5 人	5 人	週 1 回	35 人	35 人	週 1 回	40 人
	月 1 回	0		月 1 回	0		月 1 回	0
7月	週 1 回	2	2	週 1 回	40	40	週 1 回	42
	月 1 回	0		月 1 回	0		月 1 回	0
10月	週 1 回	4	4	週 1 回	42	42	週 1 回	46
	月 1 回	0		月 1 回	0		月 1 回	0
1月	週 1 回	1	1	週 1 回	46	46	週 1 回	47
	月 1 回	0		月 1 回	0		月 1 回	0

13 不妊治療助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、不妊治療費の助成を行った。令和4年4月から人工授精が保険適用となり、保険適用外の先進医療を助成対象として拡充した。

助成者数 104人（実人数）

内訳 一般不妊治療助成者数 延べ140人（うち先進医療による助成者数延べ38人）

不育症治療等助成者数 延べ3人

② 養育医療給付事業費（医療保険課）

母子保健法第20条の規定により、身体の発育が未熟なまま出生し、医師が指定医療機関への入院養育が必要と認めた乳児に対し、入院医療費等の給付を行った。

延 べ 受 給 者 数	延 べ 支 給 件 数	支 給 総 額
13 人	49 件	4,242,917 円

4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

① 健康増進施設管理運営費（地域福祉課）

令和4年10月から令和8年3月末まで、公益財団法人向日市スポーツ文化協会を指定管理者に指定し、運営した。

指定管理料 : 35,000,000円

1 健康増進センター利用状況

(1) 利用者数（年間延べ利用者数）

利用者数(トレーニング室)	38,120 人
うち市内	26,537 人 (69.6%)
利用者数 (スタジオプログラム)	5,797 人
うち市内	4,569 人 (78.8%)

(2) 営業日数 332 日

2 市民温水プール再整備等検討事業（令和5年度主要事業）

市民温水プールの今後のあり方を検討するため、「向日市民温水プールあり方検討会議」を開催した。

また、既存建物の解体工事に係る設計を実施した。

実施回数：4回

第1回会議：令和5年7月11日

第2回会議：令和5年9月26日

第3回会議：令和5年12月21日

第4回会議：令和6年3月26日

3 その他

解体工事設計業務 6,300,800円

4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

① 環境政策事業費（衛生環境課・ゼロカーボン推進課）

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す第3次向日市環境基本計画に基づき、環境保全施策を推進した。

1 ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦（衛生環境課）

530（ごみゼロ）運動の一環として、市民や事業所、各種団体などと行政が一体となって地域の道路や公園等の清掃活動を実施するもの。

春 2,917人/89団体 もやすごみ 1.9t 泥 4.6t 合計 6.5t

秋 2,155人/64団体 もやすごみ 1.7t 泥 0.3t 合計 2.0t

2 環境保全啓発事業（衛生環境課・ゼロカーボン推進課）

・環境月間 令和5年6月1日～30日

・環境市民講座

「グリーンカーテン講習会」 令和5年4月26日 参加人数32名

「太陽光ってすごい！作って学ぼう！ソーラーバースデーカード！」 令和5年12月26日 参加人数8名

「あかりの省エネを学んでみよう！」 令和5年12月26日 参加人数8名

3 家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助事業（ゼロカーボン推進課）

太陽光発電と蓄電池を同時に設置する家庭に対して、補助金の交付を行った。

年 度	5	4	3	2	元
補 助 世 帯 数	25 件	13 件	9 件	15 件	10 件
補助金交付総額	3,398,000 円	1,776,000 円	1,171,000 円	3,331,000 円	2,291,000 円

4 生ごみ堆肥化容器購入費補助（衛生環境課）

生ごみ堆肥化容器を設置する家庭に対して、補助金の交付を行った。

年 度	5	4	3	2	元
補 助 世 帯 数	41 件	35 件	20 件	16 件	5 件
個 数	52 基	50 基	20 基	16 基	5 基
内 非電動式	38 基	40 基	5 基	13 基	2 基
内 電動式	14 基	10 基	15 基	3 基	3 基
補助金交付総額	229,300 円	190,000 円	161,200 円	133,600 円	32,800 円

5 向日市環境推進会議の開催（ゼロカーボン推進課）

第3次向日市環境基本計画の進捗に当たり幅広く意見を求めるため、向日市環境推進会議を開催した。

開催日：令和5年11月5日

内 容：第2次向日市環境基本計画について

第3次向日市環境基本計画の進捗状況について

向日市重点対策加速化事業について

6 狂犬病予防対策（衛生環境課）

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するもの。

狂犬病予防集合注射期間 令和5年4月11日～4月13日

集合注射頭数 171頭

予防注射総接種頭数 1,875頭

7 ふん害対策（衛生環境課）

(1) イエローチョークについて、ホームページで普及啓発するとともに、協力者にチョークを提供した。

年 度	5	4	3	2	元
チ ョ ーク 本 数	26 本	25 本	29 本	21 本	90 本
人 数	13 人	11 人	11 人	13 人	13 人

(2) マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

年 度	5	4	3	2	元
看 板 枚 数	62 枚	64 枚	102 枚	88 枚	85 枚
人 数	30 人	33 人	48 人	41 人	17 人

8 蜂駆除用防護服の貸出支援（衛生環境課）

個人で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂駆除用防護服を貸し出した。

（貸出件数 16件）

9 空き地雑草除去対策（衛生環境課）

空き地の管理について指導するとともに、環境美化の啓発等を推進した。

（指導件数 8件）

10 不法投棄対策（衛生環境課）

- (1) 分別ステーション利用マナーの向上のため、啓発ビラの回覧や配布を行った。
- (2) 環境整備員によって、分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した。
（通年、平日の午後）
- (3) 立看板の設置等による啓発を行った。

11 環境汚染の状況（衛生環境課）

(1) 公害苦情件数・推移

（単位：件）

種 別 \ 年 度	5	4	3	2	元
大 気 汚 染	1	0	3	0	0
水 質 汚 濁	0	2	2	4	2
騒 音	7	2	6	7	7
振 動	2	0	4	0	1
悪 臭	5	6	6	5	7
そ の 他	9	16	24	16	12
計	24	32	45	32	29

※その他：動物のフン害や適正飼養に対する苦情など

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 令和5年5月1日～9月30日

注意報発令件数（乙訓地域） 1件

12 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況（衛生環境課）

(1) 騒音関係

（単位：件）

種 別 \ 年 度	5	4
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数	20	13
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	138	138
騒音規制法に基づく特定施設数	567	561
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	121	121
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	1,039	693

(2) 振動関係

（単位：件）

種 別 \ 年 度	5	4
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数	13	10
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	121	121
振動規制法に基づく特定施設数	492	487
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	120	120
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	238	238

13 調査・測定の実施（衛生環境課）

(1) 騒音・振動調査

ア 環境騒音実態調査（24時間測定）

(ア) 一般地域（道路に面する地域以外の地域）

物集女公民館	令和5年11月7日～8日
寺戸コミュニティセンター	令和5年11月14日～15日
市役所本庁舎	令和5年11月28日～29日
鶏冠井公民館	令和5年11月30日～12月1日
上植野公民館	令和5年11月21日～22日
上植野町落堀集会所	令和5年11月25日～26日

(イ) 道路に面する地域（自動車騒音常時監視）

伏見向日線（森本町高田～寺戸町中ノ段）	令和5年12月5日～6日
志水西向日停車場線（上植野町南淀井～上植野町吉備寺）	令和5年12月5日～6日
上久世石見上里線（寺戸町梅ノ木～寺戸町大牧）	令和5年12月5日～6日

イ 新幹線鉄道騒音等監視測定

森本町東ノ口（新幹線上り側）	令和5年10月17日
森本町佃（新幹線下り側）	令和5年10月17日

(2) 大気調査

一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査

物集女交差点	令和5年7月10日
蔵ノ町公園	令和5年7月11日
寺戸公民館	令和5年7月11日
鶏冠井公民館	令和5年7月10日
上植野公民館	令和5年7月11日
上植野コミュニティセンター	令和5年7月10日

(3) 水質調査

公共水域調査（河川、用水路）4河川／5地点

寺戸川（深田川橋）	年4回調査
石田川（前田地下道西側）	第1回 令和5年7月27日
石田川（西羽東師川合流地点）	第2回 令和5年9月4日
和井川（JR東海道線東側）	第3回 令和5年12月4日
小井川（JR東海道線西側）	第4回 令和6年3月4日

14 公衆浴場確保対策補助金（衛生環境課）

公衆浴場の経営の安定を図り、市民の保健衛生の向上及び増進を目的とし、市内1か所の公衆浴場に対し9万円の補助金を交付した。

15 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助事業（衛生環境課）

人と猫との調和のとれた共生社会の実現をめざし、市民の動物愛護の意識啓発と、望まれない繁殖による不幸な猫を増やさないために、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助事業を行った。

年度		5	4
頭数	オス	22頭	49頭
	メス	39頭	45頭
	合計	61頭	94頭
補助金額		281,000円	398,000円

② ゼロカーボン推進費（ゼロカーボン推進課）

ゼロカーボン推進事業（令和5年度主要事業）

ゼロカーボンを推進するため以下の事業を行った。

1 ゼロカーボン推進事業費補助金交付事業

太陽光発電設備、蓄電池及び家庭用燃料電池の設置に係る経費に対して、補助金の交付を行った。

対象設備名	申請件数	交付決定額
太陽光発電設備	12件	4,058,000円
蓄電設備	12件	5,380,000円
家庭用燃料電池	31件	6,200,000円

2 公共施設高効率照明機器整備事業

以下の公共施設に高効率照明機器の整備を行った。

施設名称	契約金額
コミュニティセンター	7,117,000 円
地区公民館	8,283,000 円
留守家庭児童会	4,345,000 円
3向小グラウンドナイター	6,547,200 円
第1保育所	7,205,000 円
老人福祉センター琴の橋	3,190,000 円
4向小・6向小グラウンドナイター	10,010,000 円
合計	46,697,200 円

3 公共施設高効率空調機器整備事業

以下の公共施設に高効率空調機器の整備を行った。

施設名称	契約金額
老人福祉センター琴の橋	12,284,800 円

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（衛生環境課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、人口割等に応じて2市1町で分担をした。

令和5年度分担金 470,167,000円

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（衛生環境課）

ごみの収集は、可燃物を週 2 回、資源物（分別収集）を月 2 回、粗大ごみや不燃物を随時収集し、一般家庭から市民一人 1 日あたり約 452g のごみが排出された。

（収集量：乙訓環境衛生組合統計、人口：令和 5 年 10 月 1 日現在 56,561 人）

1 令和 5 年度ごみ等収集量（乙訓環境衛生組合搬入分）

(1) 一般家庭ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	8,258.67
分 別 収 集	894.70
不 燃 物	68.35
粗 大 ご み	124.01
合 計	9,345.73

(2) 事業系ごみ

種 別	収 集 量 (t)
可 燃 物	3,145.66
分 別 収 集	5.27
不 燃 物	0.00
粗 大 ご み	238.29
合 計	3,389.22

○有料ごみ

処 理 件 数	4,954
手 数 料 (円)	8,394,500

一般／事業系ごみ計 (1) + (2)	12,735 t
------------------------	----------

2 令和 5 年度分別収集内訳（乙訓環境衛生組合搬入分）

分 類	収 集 量 (t)	割 合 (%)
空 カ ン	80.800	9.00
空 ビ ン	220.820	24.60
そ の 他 不 燃	241.280	26.88
ペ ッ ト ボ ト ル	105.100	11.71
その他プラスチック	234.470	26.12
廃 乾 電 池	12.002	1.34
蛍 光 灯	3.028	0.34
合 計	897.500	100.00

3 ごみの減量と再資源化の推進

(1) 紙パブリサイクル

ア 回 収 量 約 2.0 t

イ 回収場所 18 か所（市役所、公民館、老人福祉センター等）

(2) 廃食油回収

回収用容器及びのぼり旗を市民団体に無償貸与し、市民活動を支援した。

ア 回 収 量 2,183 リットル

イ 回収場所 12 か所（4 団体）

(3) 資源物の回収

市役所庁舎（資源物回収ステーション）、鶏冠井コミュニティセンター、北部防災拠点及び上植野コミュニティセンターで資源物の終日回収を実施した。また、市役所庁舎において廃食油の回収を実施した。

（単位：t）

種 別 \ 年 度	5	4	3	2
空 カ ン	15.44	14.38	12.41	8.71
空 ビ ン	38.45	33.43	29.03	20.16
ペ ッ ト ボ ト ル	20.40	17.26	12.27	8.72
古 紙	66.58	76.14	59.91	16.61
合 計	140.87	141.21	113.62	54.20

（単位：リットル）

種 別 \ 年 度	5	4	3	2
廃 食 油	1,930	1,740	1,820	1,345

(4) 再生利用量と再生利用率

分別収集、集団回収及び拠点回収で回収した資源物は、リサイクルするため、乙訓環境衛生組合又は民間事業者に引き渡した。

種 別 \ 年 度	5	4	3	2
再生利用量（t）	1,354	1,007	780	731
再生利用率（%）	10.1	7.5	5.5	5.1

(5) 小型家電回収

小型家電リサイクル法認定事業者と協定を結び、宅配便を用いた小型家電の回収（パソコンを含むと無料。ただし1箱のみ。）を実施し、リサイクルを推進した。

種 別 \ 年 度	5		4		3	
	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)	台数	重さ(kg)
パ ソ コ ン	343	1,539.5	341	1,529.5	385	1,731.3
携 帯 電 話	143	16.2	114	13.0	132	14.9
その他小型家電		1,709.7		2,477.8		1,490.3
合 計		3,265.4		4,020.3		3,236.5

4 古紙等回収推進事業

(1) 古紙等回収拠点

古紙や古着（古繊維）について、ごみの減量及び資源物の再資源化を促進するため、上植野浄水場内敷地を活用し、令和4年11月7日に古紙等回収拠点を開設した。

ア 回収量 （単位：t）

種 別 \ 年 度	5	4
新 聞	143.51	29.62
雑 誌	44.08	11.33
段 ボ ー ル	116.37	30.98
古 着	74.07	19.37
合 計	378.03	91.30

※令和4年度は令和4年11月7日から令和5年3月31日までの回収量

(2) 古紙等集団回収助成金事業

ごみの減量及び資源の有効利用並びにリサイクル意識の向上を目的に、古紙や古着の回収を行っている自治会や子ども会などの団体に助成金を交付する事業を令和4年7月1日から実施した。

ア 登録団体数 25団体

イ 回収量 (単位：t)

種 別 \ 年 度	5	4
新 聞	115.07	57.75
雑 誌	42.98	18.36
段 ボ ー ル	31.73	14.57
紙 パ ッ ク	0.08	0.01
雑 が み	0.00	0.01
古 着	6.58	2.84
合 計	196.44	93.54

※令和4年度は令和4年7月から12月までの回収量

5 指定ごみ袋制度によるごみ減量の推移

ごみの減量や資源化を目的に「指定ごみ袋制度」を令和4年2月1日から開始した。制度開始後、家庭から排出されるごみ量は減量傾向にある。

種 別 \ 年 度	5	4	3	2
も や す ご み	8,258.67 t	8,581.18 t	9,473.10 t	9,705.76 t
資 源 物	1,035.57 t	1,061.92 t	1,048.06 t	1,001.33 t
合 計	9,294.24 t	9,643.10 t	10,521.16 t	10,707.09 t
前 年 度 比	△ 3.62 %	△ 8.35 %	△ 1.74 %	－ %

6 ごみの適正な出し方についての啓発

もやすごみや資源ごみ、粗大ごみの収集を円滑に行うため、ごみの出し方・分け方カレンダーを改訂し、全戸（約25,000戸）に配布するとともに、広報による啓発を実施し、マナーの向上に努めた。

また、定期的な巡回パトロールや啓発用立看板の設置を行った。

7 粗大ごみ受付システム・ごみ分別アプリ導入事業

パソコン、スマートフォン等のインターネット接続機器を活用し、広く市民の皆様に分かりやすいごみの出し方等の情報を提供する「ごみ分別アプリ」と、24時間365日インターネット上で粗大ごみの収集を申し込むことが可能で、キャッシュレス決済も可能な「粗大ごみ受付システム」を令和5年1月5日に導入した。

これらの導入により、市民の皆様の利便性向上を図るとともに分別意識を高めていただくことで、ごみの減量や適正排出を促進した。

(1) 粗大ごみ受付システム

ア 利用件数 1,970件

(2) ごみ分別アプリ

ア ダウンロード数 4,067件

4 衛生費 2 清掃費 3 し尿収集費

① し尿収集費（衛生環境課）

1 し尿くみとり（年間）

業務委託によりし尿を収集し、乙訓環境衛生組合の処理施設まで運搬した。

くみとり 戸数	人頭制		51 戸	くみとり家屋件数 57件
	計量制	一般家庭	2 か所	
		事業所	4 か所	
		仮設トイレ	41 か所	
くみとり量			159 kℓ	

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

2 浄化槽（年間）

基数	86 基
浄化槽汚泥収集量	141 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。